

4月臨時会を開催

浅口市議会 新体制スタート

議長 柚木 毅
副議長 中西 美治 を選出

4月27日、平成24年第2回臨時会を開催し、正副議長、常任委員会委員などの改選を行いました。そして、常任委員会、議会運営委員会を開催し、それぞれ正副委員長を選出しました。



議長 柚木 毅



副議長 中西 美治

議長あいさつ

住みよい浅口市と議会の活性化を目指して

市民の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、議員各位のご推挙をいただき、議長という重責を担うことになりました。身の引き締まる思いです。地方自治の基本である住民福祉の向上のために、粉骨碎身の覚悟で努力いたす所存です。

地域の個性を活かしながら安定した住みよいまちづくりを推進していくため、議会の存在は益々重要なものとなっています。

また市政においては、コンパクトで自然環境にも恵まれた浅口市の利点を活かし、市民の皆様から愛されるまちづくりを次世代にも引き継いでいかねばなりません。

市議会では、市民に開かれた議会運営を目指すた

め、「浅口市議会基本条例」の制定に向け準備を進めています。市民の皆様の声を届け市政に反映させるとともに、議会の本分である市政のチェックを怠ることなく、市の発展に全力で取り組んでまいります。最後になりますが、市議会に対しまして、日ごろから温かいご支援をいただき深く感謝いたします。今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

監査委員



大西 恒夫

議会選出の監査委員に
大西恒夫議員を選任する
ことに同意しました。

専決処分

○浅口市税条例の改正

住宅用地の課税標準額の算定の改正、及び東日本震災被災者の譲渡所得の課税の特例に係る譲渡期間の要件の延長を行うもの。

【承認】

○浅口市国民健康保険条例の改正

東日本震災被災者の譲渡所得の課税の特例に係る譲渡期間の要件を延長するもの。

【承認】

報告

○長期継続契約の締結状況

金光幼稚園のデジタルカラー複合機のリース契約を5年間契約するもの。

委員会構成

民生常任委員会



副委員長 伊澤 誠



委員長 桑野 和夫



中西 美治



佐藤 正人



田口桂一郎



藤澤 健

総務文教常任委員会



副委員長 大西 洋平



委員長 青木 光朗



加藤 淳二



竹本 浩司



井上 邦男



畑中 知時



柚木 毅

議会運営委員会

(7月1日現在)



委員長 竹本 浩司



中西 美治



原 彰



大西 洋平



田口桂一郎

産業建設常任委員会



副委員長 高橋 範昌



委員長 平田 襄二



原 彰



岡邊 正継



道廣 裕子



香取 良勝



大西 恒夫

6月定例会を開催

議員報酬 10%を減額

6月定例会を6月5日から21日までの17日間の会期で開催しました。

初日には、市長の政務報告の後、閉会中に行われた委員会の審査経過の概要が各委員長から報告されました。また執行部から条例改正議案4件、その他1件、平成24年度補正予算案3件など13件が上程されました。

2日目からの一般質問では、7人の議員が登壇し、市政をただしました。

4日目には執行部から2議案が追加上程され、承認1件を承認し、和解及び損害賠償額の決定に関する議案1件を可決しました。その他の議案は質疑の後、常任委員会に付託し、慎重に審査しました。

最終日には、委員会審査の概要と結果が各委員長から報告され、条例改正議案4件、その他2件、補正予算案3件を原案のとおり可決しました。また、議会推薦の農業委員会委員4名を推薦しました。

そして議員提出議案として、議員報酬を10%減額する議案が提出され、審議の結果、賛成多数でこれを可決しました。

なお、請願1件、陳情2件を採択し、関係機関に意見書を送付することとしました。

補正予算審議

一般会計補正予算 総額1,418万円を可決

補正後総額128億1,418万円（対前年比-1.4%）

一般会計補正予算（歳出の主なもの）

	事業の内容	補正額
議会費	議会に関する市民アンケート調査の実施	113万円
衛生費	不法投棄対策の実施	350万円
消防費	津波を想定した総合防災訓練の実施	69万円
教育費	岡山天文博物館のPRと利用促進（臨時職員雇用及びイベントの開催）	452万円

特別会計補正予算

	補正額	補正後総額
介護保険	21万円	35億3,866万円

	補正内容
公共下水道事業	債務負担行為として寄島浄化センターの長寿命化計画策定事業に7,500万円

条例

- 浅口市印鑑登録及び証明に関する条例及び浅口市手数料条例の改正 **【原案可決】**

外国人登録法が廃止され、在留管理制度が導入されたことから、外国人住民が住民基本台帳法の適用対象となるため所要の改正をするもの。

- 浅口市ひとり親家庭等医療費給付条例の改正 **【原案可決】**

ひとり親家庭等に対する医療費公費負担制度において、平成22年度税制改正における扶養控除の見直しによる影響をできるだけ少なくし、見直し前と同程度の負担となるようにするもの。

- 浅口市心身障害者医療費給付条例の改正 **【原案可決】**

外国人登録法の廃止と住民基本台帳法の改正により、受給資格要件等の改正をするもの。また税制改正による扶養控除の見直しの影響を少なくし、受給者の自己負担が見直し前と同程度の負担となるようにするもの。

- 浅口市墓地の経営の許可等に関する条例の改正 **【原案可決】**

納骨堂及び火葬場の経営許可について規定を設けるもの。

その他

- 岡山市町村総合事務組合を組織する地方公共

団体数の減少及び岡山市町村総合事務組合規約の変更 **【原案可決】**

岡山市町村総合事務組合において構成団体の2団体が解散したことにより、脱退の承認と組合規約の変更をするもの。

- 工事請負契約の締結 **【原案可決】**

鴨方中学校校舎耐震改修等1期工事に、株式会社まつももとコーポレーションと2億2141万円余で請負契約を締結するもの。

- 和解及び損害賠償額の決定 **【原案可決】**

公用車が関係する事故により、市が相手方に対し保険から9万5425円を支払うもの。

専決処分

- 和解及び損害賠償額の決定 **【承認】**

道路管理瑕疵による事故について、市が相手側に対し、保険から8348円を支払うもの。

報告

- 平成23年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書

繰越額10億1502万5千円

- 平成23年度一般会計予算事故繰越し繰越計算書

繰越額756万8千円

- 平成23年度公共下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書

繰越額1億7120万円

- 長期継続契約の締結状況

鴨方中学校丁合機1台と寄島小学校パソコン12台のリース契約、例規執務サポートシステム使用許諾契約を5年間契約するもの。

人事案件

- 農業委員会委員の推薦 **【同意】**

議会が推薦する農業委員会委員に次の4名を推薦しました。



竹本 浩司



青木 光朗



田口桂一郎



大西 洋平

請願・陳情

次の請願・陳情を採択し、関係機関に意見書を送付しました。

- 「障害者総合福祉法」(仮称)制定に関する意見書の提出に関する請願書 **【採択】**

【要旨】障害者総合福祉法の制定、充実した障害

福祉施策の提供体制の確立、障害者福祉制度充実のための地方自治体財源の確保を国に求める。

提出者 障害者の生活と権利を守る岡山県連絡協議会

紹介議員 桑野和夫

●人権侵害救済法案に反対する意見書提出についての陳情（2件）

【採択】

【要旨】「人権侵害救済法案」の国会提出に反対する意見書を政府に提出するよう求める。

提出者 高橋幸一氏、秋田泰嶺氏

議員発議

●浅口市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

【原案可決】

井上邦男議員を提出者に、平成24年7月から平成25年3月までの9ヶ月間議員報酬の10%を減額する条例改正案が提出されました。提出者から、議員も昨年4月から6月までを東日本大震災被災者のため、報酬の15%を寄附し、7月から本年3月までは議員報酬15%減額したが、今年度は行っていない。地方財政も厳しく、個人所得の減少や企業の景気悪化により雇用不安もある中、議員も率先して行財政改革に取り組むべきとの提案説明がありました。次のような討論の後、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

これにより、合計641万7千円の議会費の節減となります。

反対討論

香取良勝議員

合併前に42人であった議員定数を市民の代表者が参加した合併協議会で24人にし、その後さらに20人となりました。報酬も当初40万円といわれていたが、35万円で決定しました。議員の皆さんも生活があります。議員は身を切る前に、報酬に見合う仕事をすべきです。

賛成討論

原 彰議員

合併時と平成22年の選挙で定数を削減し、それぞれ約7500万円と約2500万円の議会費を削減し、議会として行財政改革を推進してきました。現在、議会改革特別委員会、議会基本条例等の制定のため調査研究をし、議員定数や報酬等の市民アンケート調査の予算を本定例会で可決したばかりです。本発議は、タイミンングや内容的に不快感や異論があることは承知していますが、諸般の事情をかんがみ賛成したい。

加藤淳二議員

議員報酬の15%を昨年4月から6月は東北の支援として寄附、また7月から本年3月までは減額しました。これを1年限りでやめるのはよくない。清風会としては去年も10%カットで発議したので今年も同様に考えています。2年、3年と続けてできるようにお願いしたい。

委員会審査の概要

条例案や予算案などの議案は常任委員会に付託され、慎重に審査されました。委員会審査で行われた主な質疑、意見の概要は次のとおりです。

一般会計補正予算

【問】総合防災訓練事業（69万円）の実施場所や規模などの概要は。

【答】国、県、岡山市が岡山港で実施するのがメイン会場となりますが、津波対策の訓練のため、沿岸部の浅口市は協力して実施することになります。実施場所は三ツ山公園を考えています。住民に参加していただくことが重要であり、詳細が決まり次第、通知します。

【問】不法投棄対策事業（350万円）の概要と過去の実績は。

【答】国の緊急雇用創出事業を活用し、不法投棄パトロールと不法投棄物の回収を行うもの。
平成21年度から23年度までの実績での回収量は、可燃物22t、不燃物26t、家電438台、タイヤ891本などです。

【問】不法投棄が発生しているのは同じ箇所か。不法投棄させない対処はしているか。

【答】人目のつかない場所に捨てられています。量

は減ってきていますが、同じ箇所に繰り返し返されていきます。ネットを張ったり、監視カメラを設置したり、場合によっては道路を封鎖するなど対応しています。夜間パトロールも実施しています。

問 地域自殺対策緊急強化事業（33万円）の詳細な概要は。

答 事故が起きる前に止める方を養成することを目的に実際の実例を含めた講演会を開催します。講師については保健所を通じ、専門の方を紹介してもらい実施したい。

工事請負契約の締結

問 契約方法は一般競争入札となっているが、応募は何社あったか。また、落札率は。

答 10社申し込みがあり、落札率は89・36%です。

問 大手の建設業者は地元には少ないが、JV（共同企業体）等を活用して競争に入ってもらえるような対応をお願いしたい。

答 今後はできるだけJV等を組んで、地元業者にも競争に入ってもらいたいと考えています。

委員会レポート

総務文教常任委員会

● 5月17日開催

校舎の耐震補強工事を行う金光吉備小学校、鴨方東小学校を視察しました。執行部から耐震補強工事の概略や施工予定期間などの説明を受けました。



金光吉備小学校

● 6月14日開催

委員会付託された補正予算案1件、その他2件について審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

民生常任委員会

● 5月18日開催

ハッピーハウス浅口市障害者共同作業所、ワーク菩提樹、金光一般廃棄物最終処分場を視察し、担当者から運営状況などの説明を受けました。

● 6月15日開催

委員会付託された条例改正案4件、補正予算案2件を審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

各委員会での審査内容をお知らせします。

のと決定しました。請願1件、陳情2件についてはすべて賛成多数で採択すべきものと決定しました。



ハッピーハウス

● 5月21日開催

寄島町安倉地区にある高潮等の防災施設である防潮ゲートと金光浄化センターを視察し、担当者から説明を受けました。

● 6月18日開催

委員会付託された補正予算案2件について審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。



防潮ゲート（寄島町安倉地区）

産業建設常任委員会

常任委員会

鴨方駅周辺整備調査特別委員会

● 5月22日開催

鴨方駅南の国道2号横断歩道橋整備は、今年度に橋げたの製作と下部工事を行う。来年度は上部工事とエレベーターの工事を行う予定であるとの説明を受けました。また、鴨方駅南の洪水調整池の公判状況の報告がありました。

主な質疑は次のとおりです。

問 国道2号横断歩道橋整備工事の総事業費と財源は。また工事の完了はいつごろか。

答 総事業費は約1億9000万円。財源は社会資本整備総合交付金と合併特例債を予定しています。工事の完了は平成25年秋頃の予定です。

国道2号バイパス及び主要道路整備調査特別委員会

● 5月30日開催

国道2号バイパスの倉敷市玉島阿賀崎から金光町佐方までの第1期工事は、平成26年度末の開通に向け順調に工事が進んでいる。第2期工事の鴨方地区の状況は、設計協議を終えて六条院中、西地区の土地の境界確認を進め、用地測

量、用地買収を行う予定との報告を受けました。金光町須恵の市営移転墓地は今年度末に工事が完了予定。佐方地区の墓地は今年9月に工事完了予定との報告を受けました。

また、主要幹線道である県道南浦金光線、東安倉鴨方線、矢掛寄島線の整備状況の説明を受けました。

委員からの主な意見は次のとおりです。

● 今年度の国道2号バイパス関連予算は第1期工事分で12億円であり、年々減少しています。国土交通省や地元選出国會議員に整備促進のため陳情を行ってほしい。

上下水道整備調査特別委員会

● 5月28日開催

上水道の受水先の統一に向けた笠岡市との協議は、特に進展はないとの報告を受けました。

下水道事業の計画変更は、昨年度各地区で実施した説明会でのアンケート結果から、公共下水道整備を推進する。地域によっては合併浄化槽での整備を進める。全体計画の見直しはクリーンライフ100構想を基本に、アンケート結果と市民の意見等も考慮し、合併浄化槽の希

望者が多い地区は見直したいとの説明がありました。

委員からの主な意見は次のとおりです。

● 上水道受水先の変更による工事をするのであれば、合併特例債の期限もあり、できるだけ早く協議を進めるよう要望します。

● 認可を受けた地区では公共下水道が整備されるまで時間がかかりすぎており、合併浄化槽の補助金も受けられないため、不満があることを指摘しておきます。

議会改革特別委員会

● 4月16日開催

議会基本条例素案及び議員政治倫理条例素案に対するパブリックコメントの募集記事を全員で確認しました。

また、市議会に関する市民アンケート調査の実施方法、設問内容を協議しました。迅速かつ正確な結果の把握と詳細な分析ができるメリットを考慮のうえ、民間業者に委託することとしました。

また、委員会、本会議などの出席状況の公表について協議しました。

一般質問

議員7名が

市政を問う！

6月定例会では7名の議員が一般質問を行いました。

なお、一般質問の記事は質問した議員が作成した原稿により掲載しています。

特別委員会



香取 良勝議員

議員の身勝手に市民の血税を無駄に使うな!

問 市長の提案により、市民から選抜したボランティア12名の仕分け人を任命し、仕分けにより年間経費が1000万円かかるトレーニンブルームについて65歳以上の受益者負担をお願いするという事を審議した。その審議の中で一人100円を負担してもらう事で市民の公平性と結論が出た(その仕分けに柚木、原、佐藤議員が傍聴していた。)

民生常任委員会でも可決。(大西洋平議員一人だけ反対) 民生常任委員長が議会で承認を受けるべく報告した。しかし、「(会派) 浅政会田口会長(8名)、大西恒夫議員、共産党、公明党」

の反対により議会で否決された。

これは、市民、仕分け人に対しての背任行為である。

市民を馬鹿にした行政、議員は自分が偉いと勘違いしている。

先日、卓球大会で市長が挨拶をされた。(210人以上参加) 65歳以上の参加者が大半であったと思うが、全員毎回100円を支払って体育館で練習している。バドミントンなどのスポーツについても同じ、受益者負担は当然支払っている。

何故トレーニンブルームは「トレーナー、器具、(自転車、ルームランナー) その他の経費がかかる」のに無料なのか。

委員会で承認した議案を議会で否決した事は長年、私が議員をしてきたが、聞いた事はない。市長も県議会当時に委員会で可決した議案を議会で否決した事例があるか? 市長は、議会で否決した議案を仕分け人に報告されますか?

また、1年生議員が勉強の為に副委員長をするのが今までの事例である。しかし、今回は多数決を良い事に浅政会で副委員長の人事を決めた。議長経験者の大西洋平議員、高橋範昌議員が副委員長に就任した。これは、子供の鉛を横取りするような事ではないのか。議員は自分だけ良ければよいのか? 議会は市民の為にある。市長の見解を求める。

トレーニンブルームについて

答 襟立健康福祉部長

トレーニンブルームは近年厳しい運営状態が続いています。市民事業仕分けで改善が必要という意見が多く、民生常任委員会で報告させて頂き、可決をし、議会で100円負担を提案させて頂きました。

答 栗山市長

私が県議在籍当時には委員会で可決した議案を議会で否決した事例はなかったと記憶しております。

仕分けをして頂いた市民の方々には非常に活発な意見をして頂き、心から感謝申し上げます。仕分け人の12名の方には報告します。

トイレについて

問

浅口市のトイレは未だ和式トイレで、市民、市職員が毎日使用する大変必要な場所で、快適な用便が出来る様にするのが、役所のトップがすべきことと思うが、市長の見解を求める。

答 栗山市長

最近ウォッシュレット機能が充実した洋式トイレが非常に普及しており利用度の高い所から優先して検討してまいります。



佐藤 正人議員

「わが身を守る」防災教育

問 防災教育についてわが身を守るということは、未来永劫にわたって進化し続けなければならないと考えますが、現在の市長の考えを聞かせてください。

答 栗山市長

東日本大震災における岩手県釜石市の「釜石の奇跡」で学ぶとおり「想定を信じるな、最善を尽くせ、率先避難者たれ」と言われるように、防災は先ず一人一人の姿勢が何よりであると強く感じています。市民の安全・安心の確保は政治の基本責任であります。先例の貴重なエピソードに学び、市民の一人一人の大切な命を守っていけるよう今後の教育や啓発に活かしていきたいと考えています。

防災・減災ニューデイル！

問 ニューデイルとは、アメリカのルーズベルト大統領が行った公共投資の総称です。わが国の社会資本である橋や道路などは戦後の高度成長期に起こされたものが多くあります。一般的にコンクリートの耐用年数は50年から60年といわれており、老朽化したインフラが防災力の低下につながります。本市のインフラの老朽化において損傷や劣化などの点検が必要と考えます。

答 松田産業建設部長

インフラの老朽化対策は必要だと考えます。

防災に「よいまちづくり」を！

問 近年の防災・減災対策として自主防災組織が重要視されていますが、現在の本市の自主防災組織の結成状況と取組みについて伺います。また、地域の防災リーダー育成の取組みとして防災士の資格修得に助成制度を取り入れてはどうか。

答 榑田企画財政部長

自主防災組織の啓発として、新たに広報紙に安全・安心一口メモというコーナーを設けて設立を呼び掛けたいと思います。また、防災士については、現在市が実施している自主防災組織活動補助金制度の中で人材育成の助成を組み入れられるか検討したいと思えます。

介護ボランティアポイント制度の導入は？

本市には、15メートル以上の橋が46橋ありますが、建築後50年を経過する橋が2橋、30年を経過する橋が24橋あります。平成22年、23年度で調査・点検を行いました。早急な改修をする必要のある橋はありません。早目の補修を行うことでトータルとしてのコスト削減につながると考えますので計画的な改修の検討をしていきます。

問 毎年増え続ける介護保険料、給付費の抑制と高齢者の介護予防の観点から介護ボランティアポイント制度を導入してはいかがでしょうか。

答 襟立健康福祉部長

この制度は、市内に住む高齢者が指定された介護施設においてボランティア活動を行った場合にポイントを給付し、貯まったポイントを経済的給付金として換金できるものです。

答 栗山市長

浅口市におきましても介護ボランティアの養成等、各種のサービスの実施に向け準備を進めています。お元気な高齢者の介護予防事業とともに、高齢者同士の地域での支え合いを重視して高齢者の皆様の笑顔があふれる地域社会を創っていききたいと考えます。



大西 恒夫議員

下水道計画の見直し

問

平成24年度で下水道計画の見直しの予定になっております。市長は、西六や小坂地区には下水道は来ないような発言をされておると聞き、何度か市長の出席しない委員会でお尋ねしましたがその確認が取れておりませんのでお尋ねします。

答

栗山市長

下水道計画の見直しの件で、私が西六や小坂地区において下水道は来ないとの発言をしているのかということですが、そのような事実はありません。

県下最低の監査体制

問

監査委員に就任させていただき、監査をしておりますが、調べてみますと県下15市中13市には監査事務局があります。残り2市の内1市は、監査事務局と議会事務局は別々です。浅口市は議会事務局長の兼務です。このような状態ですが、最低、監査委員が事前に書類を見たり勉強をする机をお願いいたしました。副市長さんから事務局長を通じて拒否されたとのことでした。書類を家に持ち帰ることは、公文書の持ち出しになりいろいろ問題があります。監査委員の機の確保をお願いします。

答

栗山市長

監査業務についてですが、市の監査委員は非常勤特別職であり、また浅口市の職員数も少なく、役所も非常に手狭でありますので、監査事務局の体制は現状でご理解を願います。また、監査委員さんの専用の機の用意はできません。書類等の勉強をされる際には会議室を利用してください。機密書類の保管は事務局で致します。

メガソーラー 企業誘致

問

市長さんは、トップセールス スピード感を持つてとよく言われますが、メガソーラーは笠岡市に先を越されました。矢掛町での企業誘致の話は新聞テレビ等で見聞きます。市長さん

答

栗山市長

笠岡市の決定した個所は市所有の土地であり、現況は干拓地内の道路の法面のりめんで、賃貸料も大変安く設定できる場所に誘致しております。メガソーラー誘致について、岡山県に対して積極的に働きかけてきました。その結果、市内候補地に数社からエントリーをいただきました。どこまで進んでいるかとのことは、相手のあることですから内容については差し控えます。

は、トップセールスとしてどのような営業をされておりますか。また、見直しについてお聞かせいただきたいと思います。



誘致が望まれるメガソーラー



伊澤 誠議員

市内学校給食センター 改修整備について

問 市内学校給食を統合しセンター方式にされる方針が委員会、全員協議会等で明らかになりました。市内の各給食調理場施設を建設してからどれくらい年月が経過し、現状はどういった状況でしょうか。

答 城山教育長 金光、寄島地区はそれぞれ学校給食センター、鴨方地区は自校方式の6施設で、鴨方中学校以外はどの施設も建設から30年経過しており、老朽化が進んでいます。

問 新給食センター建設予定地は、どこへ予定しているのでしょうか。建設に伴う経費はどのくらいになり、財源はどこから支出される予定でしょうか。

また、いつから共用開始する予定でしょうか。

答 城山教育長

道路条件、公共下水道の整備状況、災害なども考慮して、市内2ヶ所を候補地として考えています。

経費については、4000食を提供できる規模で10億円から15億円程度で、用地買収費用は含まれていません。

財源は償還金の70%が交付税措置の対象となる合併特例債を有効に使い、それまでさまざまものを準備し、共用開始を平成27年度からと思っています。

問

浅口市学校給食改修プロジェクトチームがつけられたそうですが、こういった人選で、何人参加し、現在までこういった協議を行ったのですか。

答 城山教育長

平成23年8月に学校教育課職員、学校長、栄養教諭や調理員、給食センター所長等、17名のメンバーで発足し、現場の意向を最大限大切にしながら約6回ほど協議しました。

5月8日には赤磐市と津山市へ先進地視察を行いました。

問

各幼稚園、小・中学校のPTAや保護者へは、どの様に説明されているのでしょうか。

答 城山教育長

市内全ての幼稚園、小・中学校15校園のPT

A役員などを対象に説明会を行いました。

保護者全体へも説明する機会が必要かと思いますが、PTA総会とか、あるいは文書によって説明するなど、学校とよく協議しながら今後進めていきたいと思っています。

問

児童の口に入るものを調理、搬送してもらうわけでありますので、地産地消の問題、手作り感の給食や食育の観点からの問題、異物混入や食中毒等の発生した場合の問題など、行政のスリム化や経費の削減だけで片づけることのできない上、調理の衛生面、安全面、信頼性等が求められていると思います。

市財政の面からも、かなりの費用を使用しているのだからな事業だと思えます。『保護者の声』『市民の声』を十分に反映した計画になるよう、また議会とも十分な対応をとるべきであると思えますがどうか。

答 栗山市長

現在の6施設をそのまま整備すると多額の経費を要することと短期間での整備は困難であり、安全安心な学校給食を実施していくためには、衛生管理基準に適合した新しいセンターを整備する必要があると考えています。また、合併特例債や交付税、補助金など、国から頂ける物を最大限に利用すれば、市費の持ち出しが少なくてすむというメリットがあり、早急に新しい給食センター建設に準備を進めていきたいと思っています。



桑野 和夫議員

浅口市の財政状況の現状は

問 地方財政制度が大きく変わっていますが、浅口市の財政の現状はどうなっていますか。今後、大型公共事業は十分に慎重を期して実施してほしい。また税金の使い方は市民の暮らしを守ることを重点にしてほしい。

答 22年度の実質公債費率は13・7%（25%以上で黄信号）将来負担比率は70・8%（350%以上で黄信号）であり、県下15市の中でも低い数値で、おおむね健全な財政状況を継続出来ています。大規模事業については、優先度や緊急性、財源等を十分勘案し、今後とも健全な財政運営に努めたい。

答 榎田企画財政部長

答 栗山市長

本市の財政状況はおおむね健全な数値を維持

していますが、今後地方自治体は非常にきびしい財政状況になるという認識に立ち運営していきたい。大規模事業の実施は未来に責任を持つ視点からも極めて慎重に取り組んでいきます。予算編成については、市民生活に密着した分野への投資ということにも配慮したい。

事業仕分けの今後は

問 仕分けに出す事業は、市民の生活に直接関連のあるものは出すべきではないと思います。そして仕分けの考え方は、市民の福祉や暮らしの拡充のために税金をどう使うのかを基準にしてほしい。

答 栗山市長

事業仕分けは、行政経費の無駄を省くだけでなく、市が行う事業のあり方について、公開の場で市民目線で議論をいただいているものです。今後の実施方法について様々な検討をしていきます。

一挙四得の住宅リフォーム助成制度なぜ実施できないのか

問 市内の業者で住宅のリフォームをする市民に一定額の助成をするのが住宅リフォーム助成制度です。

この制度の実施により、利用者が喜び、建設業者が元気になり、地域が活性化し、自治体も

予算の効果が得られる一挙四得の制度。実施に向けて検討してほしい。

答 栗山市長

市内の中小零細企業はいずれもきびしい経営状況にある中で住宅リフォーム助成のみを実施することは難しいと考えています。

未来ある子ども達を守るために通学路の安全対策を

問 通学中の事故件数はどうか。子ども達を守るために総合的で恒常的なチェック体制とそれに対応できる体制づくりへ例えば通学路安全対策委員会を組織できないか。

答 谷本教育次長

過去3年間で小学校が1件、中学校が21件事故がありました。ほとんどが軽傷でした。

危険の回避へ努力しています。ご指摘の委員会はありますが、安全の確保のため担当者が連絡を密にして、組織として機能していくことは大事なことで検討したいと思っています。



安全な登下校を



原 彰議員

浅口市新規学卒者雇用奨励助成金制度について

問 この制度は平成24年度に発足させた制度ですが、今後の推移の中で検討や改善が行われていくものと思います。日本経済の低迷デフレ下で若者達の雇用機会が縮小する中、この制度が目的にそって機能することに私も期待しますが、市長が税金の投与をもつてもこの制度を実施する思いとは何であるのか。
またこの制度とはどういったものなのかをお答え下さい。

答 栗山市長

この制度はリーマンショック以降の景気低迷の影響による厳しい雇用情勢を反映し今年度か

ら新たに緊急支援措置として制度化したものです。助成金の支給対象となる新規学卒者は高校や大学等の学校卒業後3年以内の方を対象としておりますので、平成21年3月以降に卒業され雇用された日以降、浅口市内に住所を有する方が対象となります。そして事業主については市内に事務所、事業所または営業所を有し、新規学卒者を6ヶ月以上継続して正規雇用した事業主に助成金を交付するものです。

問

①雇用奨励助成金の交付額はいくらを予定していますか。
②費用対効果の観点からはどのような予測推計を立てられていますか。
③定住促進を目的の1つとされていますがどのような対策が必要と考えられていますか。

答 栗山市長

交付額は1人につき10万円、1事業主の上限を20万円としています。また本制度は地元での就職支援のための施策であり、直ちにその効果を数値で表すのは困難ですが、長い目で見ていただきましたらきつとその効果もあらわれてくるものと考えています。定住促進については市内の事業所の皆様には1人でも多く採用していただくとともに、市民皆様の生活基盤の確立をはじめ安心して暮らせる浅口市の創造という視点のもと市民生活に密着した分野での政策の展開を図ることにより定住促進へとつなげていき

たいと考えています。

協働のまちづくりについて

問 これからのまちづくりのあり方として住民提案型のまちづくりが盛んに提唱されています。その方向性には私も共感します。更に言うならば我々大人世代は次世代を担う子どもの住まわちづくりにも責任を持たなくてははいけません。より広範な意見提案を求めると、子どもたちの提案要望も積極的にくみあげてはどうでしょうか。

答 栗山市長

子どもたちからまちづくりの意見を聞くことは大変すばらしいと思います。これから10年先20年先の地域の未来を担う子どもたちの視点をまちづくりに生かしていくということは大変重要なことであり、また子どもたちからまちづくりについて考える機会を持つことは、浅口市に愛情や誇りを持つことにもつながるものと思っております。



道廣 裕子議員

県道矢掛・寄島線の安全対策は!

問 宮通交差点の早急な安全対策を要望していますが、その後の進展状況を伺います。

答 松田産業建設部長

その件で県に確認をしたが、今検討中で具体的な日時、内容はわかりません。ひき続き、早期着工を要望していきます。

竜王山(寄島)のトレッキングコースについて

問 寄島・六条院にまたがる尾根の縦走路の整備をさせていただきたい。

答 松田産業建設部長

トレッキングコースの選定条件は、市道があ

ることを基本にしています。

また、地区の里山団体との協働で行えるコースで、維持、管理で10人以上が連携できれば今後もコースを追加したいと考えています。

中学生全体の英語力の向上を!

問 スピーチコンテストは、生徒の将来の自信につながれば大変有意義ですが、生徒全体の英語力をつけることが必要ではないか。

答 谷本教育次長

現在、5名の外国人指導助手を配置しています。生徒数、学級数の多い鴨方中学校は常時1名、その他は兼務で、小学校では、4年生から6年生の授業に週1回、1年生から3年生は月1回、共同授業者として入り効果的な指導を継続しています。幼稚園にも月1回のペースで巡回して遊びや日常生活を通じて触れ合っています。指導助手の質の向上を図り市内全体の英語力の向上を目指したい。

答 城山教育長

義務教育の段階では生徒全体の英語力の底上げが大切であることは同感で、力をつくしたいと思っています。

学校給食! —教育に合理化は持ちこまないで—

問 学校給食のセンター化について学校、保護者

にはどういう説明をされ、どういう感触だったのか伺います。

また、センター化で経費が安くなるのは当然です。しかし、地元食材の使用、地産地消、食物アレルギーへの対応など学校と保護者との細かい対応が継続できますか。

また、病原菌等が発生した場合どうなりますか。現在金光、寄島はセンターで運営をしています。保護者の意向は基本的には現状を望んでいます。

答 谷本教育次長

今年2月市内の幼稚園、小・中学校15校園のPTA役員を対象に説明を行いました。

PTAの方からは、アレルギー対策、手作り感の問題、配送距離の関係で給食が冷めないかなどの意見がありました。センターの建設についてはご理解をいただいたと思っています。



慎重な判断を求められるセンター化

長年の功績により叙勲を受章

高齢者叙勲

山下初一氏に 旭日単光章



元鴨方町議会議員山下初一氏が旭日単光章を受章されました。山下氏は昭和42年から3期12年間、鴨方町議会議員として在職、副議長にも2年間就任され、地方自治の発展に御尽力されました。長年の功績に敬意を表しますとともにお祝い申し上げます。

議員表彰

全国市議会議長会並びに中国市議会議長会より、当市議会議員が次のとおり表彰を受けました。

全国市議会議長会会長表彰

○議員一般表彰

井上 邦男

議員
(議員15年以上)

※在職年数の計算は、合併前の町議会議員としての勤続年数の半分が加算されます。

中国市議会議長会会長表彰

○正副議長特別表彰

高橋 範昌

議員
(正副議長10年以上)

※正副議長歴の計算は、合併前の町議会議長の正副議長歴が加算されます。

お知らせ

5月に実施しました議会基本条例及び議員政治倫理条例の両素案に対するパブリックコメントへの応募はありませんでした。

ご協力ありがとうございました。

会派の紹介 (7月1日現在)

浅口市議会では、会派による議会運営を行っています。

会派とは同じ政策を持つ議員集団で、浅口市議会では3人以上の議員で組織することを確認しています。また、議会運営委員会はその所属議員数に応じて、各会派に委員数が割り当てられており、会派による委員会運営が行われます。

○浅政会 (せんしやうかい)

代表 田口 桂一郎

伊澤 誠 竹本 浩司

平田 襄二 原 彰

中西 美治 柚木 毅

高橋 範昌 大西 洋平

○清風会 (せいふうかい)

代表 井上 邦男

加藤 淳二 畑中 知時

なお、無会派は次のとおりです。

佐藤 正人 岡邊 正継

桑野 和夫 藤澤 健

青木 光朗 大西 恒夫

香取 良勝 道廣 裕子

声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、浅口はるか会のご協力により議会だよりを音訳しています。

表紙写真

7月6日、寄島幼稚園で七夕まつりが行われました。

園児たちは色とりどりの七夕かざりと一緒に、願い事を書いた短冊を笹につり下げました。そのあと楽しみのスイカをおいしく頂いているところをカメラでパチリ。園児たちからとびりの笑顔がこぼれます。まさに夏の風物詩です。楽しい七夕まつり、短冊に書いた願い事が叶うといいですね。



広報特別委員会

委員長 平田襄二

副委員長 伊澤 誠

委員 佐藤正人 桑野和夫

原 彰 中西美治

柚木 毅 道廣裕子

議会だよりは再生紙を使用しています